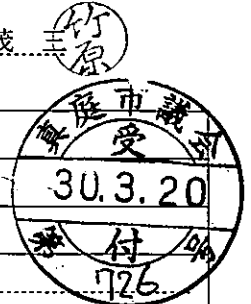


平成30年3月20日

真庭市議会議員 長尾 修 様

平成29年度 真庭市議会報告書・市民と語る会実施報告書

報告者(班長) 竹原 茂



開催日時	平成30年1月26日(金) 19:00 ~ 20:55		
開催学区名	月田小学校区		
会場名	月田公民館		
出席議員	班長 : 竹原 茂 三 副班長 : 氏平 篤 正 班員 : 岩本 壯 八 大月 悦 子 岡崎 陽 輔 長尾 修		
参加人数	22人 (うち議員6人)		
発言の種類	発言の内容	会場での対応	備考
要望	1度補助金をもらったら、消耗品以外は5年たたないと補助金が出ない。今後補助金の見直しの検討がなされるのか	テント等消耗品以外は1/3地元負担となる。 持ち帰って検討する。と説明した。	
要望	市道神退・中倉線が狭くなっている。地元の自治会長がお願いしても取り上げてもらえない。改善をお願いしたい	市道(道幅4m)の維持管理は修繕で実施。自治会単位で、地元振興局へ依頼してもらうよう説明。	
要望	小学校の体育館を夏場キャンプで使用したが、網戸も無く暑くて寝れなかった。学校の施設であれば、避難所でもあるので環境を整えてほしい。	担当部局に伝えると回答した。	
研究課題	看護師への奨学金・介護職の資格取得支援、補助金 真庭校定員割れ、真庭の看護師6割が真庭校看護科卒、奨学金元資がないと運営できない。医師会も検討している。病院によっては、看護師不足で病床を削減している。介護職不足で倒産している施設も全国ではある。真庭市の雇用確保のためにも介護職の人材育成が必要。	奨学金の検討は必要である。地元看護科の質の向上がないと、生徒は市外に進学する。介護職の確保は重要な課題である。 研修制度については、岡山大学教育研修センターが出前授業に来てくれる制度の活用を説明する。	文教厚生常任委員会で調査研究の必要がある。  (政策提言にならないか)
質問	老人クラブの補助金について 30年度に限り補助金を頂けると聞いている。自主運営をしているところがあると聞いているが、他地域はどうか	30年度から老人クラブに対して補助金が出る。老人クラブが、社共に事務を委託される場合は、委託料を老人クラブが支払うようになる」と説明した。	

研究課題	<p>市営住宅・団地整備について</p> <p>月田にはCLTの住宅3軒があり若い人が少し増えた。若い人を増やすためには、住宅整備が重要である。子供が少なくなると学校の統合話が出る。学校がなくなると地域力が減退する。市営住宅の充実が少子化対策にもなる。</p> <p>月田保育園は危険な場所にあり保育園の移転を要望したいが、小学校の移転につながってもいけないのでそういった動きに関する情報をいただきたい。</p>	<p>若い人が入りやすいという点では、市営住宅の増加は必要と考える。空き家を市営住宅として借り上げることも個人的には考えている。現在月田小学校の統合の話はない。と回答した。</p>	<p>総務常任委員会か産業建設常任委員会で調査研究の必要がある。</p>
要望	<p>古民家の屋根の瓦が落ちる。二次災害の危険性もある。</p> <p>都市住宅課が見に来て、写真も撮って帰った。いまだに放置されている。どうなっているのか。早く解体してほしい。</p>	<p>空き家の地権者はだれなのか。撤去に掛かった費用は地権者に貰うことになる。強制撤去するには手続きに時間が掛かる。市においても今空き家の現状を調査している。法整備も遅れている。と説明する。</p>	
要望	<p>農地を隣近所において作ってもらっているが、高齢化が進むので耕作放棄地になる可能性がある。組織的な対策をお願いしたい。</p>	<p>全国的な問題であり、集落営農を立ち上げて守っていくことが出来ればと思う。県の農政の考え方もあり、今後議論を深めるようにする。と回答する。</p>	
要望	<p>市道神退線の改良について</p>	<p>地域で要望を取りまとめ、振興局に提出してほしいと説明。</p>	
	<p>議員定数に対する考えを問う</p>	<p>議員各々が回答した。</p>	

平成30年3月20日

真庭市議会議員 長尾 修 様

平成29年度 真庭市議会報告書・市民と語る会実施報告書

報告者(班長) 竹原 茂三



開催日時	平成30年1月27日(金) 19:00 ~ 21:15		
開催学区名	木山小学校区		
会場名	鹿田公民館		
出席議員	班長 : 竹原 茂三 副班長 : 氏平 篤正 班員 : 岩本 壯八 大月 悦子 岡崎 陽輔 長尾 修		
参加人数	31人 (うち議員6人)		
発言の種類	発言の内容	会場での対応	備考
研究課題	自主防災組織について・個人情報の把握が難しい。 ・自主防災組織はできているが機能していない。活動に地域差があり行政も支援してほしい。・防災マップはあるが、活用されていないし、認識も薄くなっている。 ・屋外放送設備を設置してほしい。	高齢者の個人情報は、民生委員が情報を持っている。屋外放送設備は、声が大きいため場所を考える必要がある。と回答した。	総務常任委員会で調査研究の必要がある。
意見	公共施設の在り方について		
意見	愛育委員は各自治体からでているが、栄養委員はやめている地域が増えている。継続している地域への負担が増えている。愛育委員と栄養委員を一つにしたらどうか。	執行部に話を伝える。	
研究課題	子育て支援・学童保育の重要性について ・市は、学童保育の予算は用意しているが運営は保護者任せであり、支援員への補償が不十分で不足している。支援員の先生方を全体で守れる保険などを検討してはどうか。 ・美川に学童保育が出来、木山から美川に移った人もある。美川には、住もうという人が増え学童も増えている。	木山に学童保育がないため、ピオキッズに行かれている人が10人位あり、美川に変わる人もあると聞いている。放課後児童クラブを立ち上げる時の組織づくりや支援員の確保の問題もあり、登録制度を設けて支援員の労働条件の整備も必要である。支援員は一定の研修を受ける必要がある。と回答した。	文教厚生常任委員会で調査研究の必要がある。
	小中学校の統合に伴うことについて ・制服・体操服の援助など統一されてい	教育委員会へ訊ねてみると回答した。	

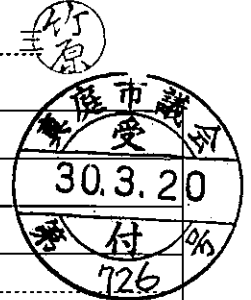
	ないのではないか。 ・スクールバスが出る地区、中学校のスクールバス利用など、不公平感がある。		
意見	老人医療の増加を抑える対策と、老人の健康維持に関する対策について		
意見	社協への補助金が減らされ活動がしにくい。		
意見	備中川の浚渫について	県に粘り強く要望していく。	
要望	備中川に注ぎ込んでいる河川の土砂撤去の支援		
要望	バイオマス液肥は肥料としてどのような位置付けか　バイオマス液肥工場設置の進捗状況は	バイオマス液肥は工業汚泥肥料である。候補地を1月末まで公募している。その後候補地の自治会との協議に入る。と説明した。	
質問	施設を管理運営していくために地元の人を雇用する第三セクターをつくった経緯があるのに、その施設に指定管理者制度を導入し、公募で民間事業者が指定管理を行うようなことになった場合、第三セクター本来の目的からの乖離ではないか。	管理委託制度から指定管理者制度への移行は、法改正によるものである。指定管理者が変わった施設において、従業員を引き継ぐこととしていたが、実際は雇用条件が変わることにより従業員が離れていった事例を説明した。	
質問	市道の改修・管理と信号機の設置について ・木山街道、西河内工業団地のYKK工場裏の道路管理が不十分である。 ・下方、井出伊倉地内の市道拡幅を2年前から申請している。早急に着工してほしい。 ・県道日野上線と国道313号線の交差点（下方地内）に感知式信号を設置してほしい。	市道の改修・管理については聞くだけにとどめた。信号機の設置は、勝山警察署に申し出て頂きたい。と説明した。	
要望	市の財源の厳しきおり、議員報酬は上げず我慢してもらいたい。		
意見	議員の定数減について	各々議員が答えた。	

平成30年3月20日

真庭市議会議員 長尾 修 様

平成29年度 真庭市議会報告書・市民と語る会実施報告書

報告者(班長) 竹原茂三



開催日時	平成30年1月28日(金) 14:00 ~ 15:55		
開催学区名	蒜山小学校区		
会場名	蒜山振興局		
出席議員	班長 : 竹原茂三 副班長 : 氏平篤正 班員 : 岩本壯八 大月悦子 岡崎陽輔 長尾修		
参加人数	16人 (うち議員6人)		
発言の種類	発言の内容	会場での対応	備考
意見	<p>防災について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・別荘が多くて、夏場は地域外の方が多く来られているが把握できない。</li> <li>・大阪から移住してきたが自治会への入会金が高くて加入できない。後から来た者が溶け込みにくい自治会の風土がある。</li> </ul>		
質問	<p>地元には消防団、自治会があり自主防災組織との関係はどうなっているのか。</p>	<p>自主防災組織は自治会単位で立ち上げられており消防団も防災組織の中に入っている。普段からのコミュニティ活動の中で「助け合い」の認識が強い。と説明した。</p>	
意見	<p>子供の数が減っているのか、世帯数が減っているのか、蒜山離れが気になる。</p>	<p>市全体で人口約5,200人減。地域によって違うが、世帯も子供も減っている。</p>	
要望	<p>高知県須崎市と15年間交流をしてきたが、須崎市も財政が厳しく、子供も少なく今年中断となった。子供たちのために交流事業を継続していただきたい。</p>		
意見	<p>コミュニティ活動への補助金について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・花植え等のコミュニティ活動に助成金があればいろいろな地域での集まりができる。ある程度の条件を整えば助成金が出るようにしてほしい。</li> </ul>		

研究課題	人口減少と少子化の歯止め対策を若者の定住促進のため住宅を整備してほしい。 ・毎年2~3人若者が会社に入ってくるが、蒜山に住まず、倉吉にアパートを借りて通っている。	教員は高速料金が出るため、遠くからでも通っている。蒜山にも教員住宅が空いている。人口減については、市に本部が出来ている。	総務常任委員会で調査研究すべき
要望	蒜山中学校下の信号機を視覚障がい者用にいただきたい。バスを使って外出される視覚障がいの方がおられるため。	公安委員会や警察署の管轄なので担当部局に連絡しますと回答した。	
意見	結婚しない若者が増えているその打開策について ・子供の通う小学校が遠いとだめなので、学校再編をしないでほしい。 ・病院がなければ不安である・空き家、別荘がたくさんあるので賃貸に出してはどうか。	定住交流推進課があるので活用するように伝える。と回答した。	
研究課題	学童保育支援員の処遇改善について。	放課後児童クラブを立ち上げる時の組織づくりや支援員の確保の問題もあり、登録制度を設けて支援員の労働条件の整備も必要である。支援員は一定の研修を受ける必要がある。と回答した。	文教にて調査研究を
意見	学校給食整備計画は、範囲が広すぎる ・大規模化すると効率化と費用削減にはなるが、地域の特性が失われるのではないか。 ・蒜山は温かいものが食べられているのか	当初は自校方式であったが、栄養士、調理士の減少、学校給食調理場の老朽化、衛生問題等に対応するために共同調理場方式に変わった。熱いものとは言えないが、温かいものは食べていると聞いている。と説明した。	
意見	敬老会においてお弁当を出してほしい	真庭市すべての敬老会の1人当たりの予算は決定している。その使い方は、地元の実行委員会で決定している。と説明した。	
要望	枝線の除雪を出勤に間に合うようもう少し早くしてほしい。		
意見	移住してきた人が、元の場所(移住前の)	蒜山には別荘もたくさんあり、	

	に帰ることへの歯止めになるので私道の除雪をしてほしい。	私道の除雪をすべてすることは困難である。と説明した。	
要 望	災害が起こってからでは遅いので、計画的に旭川の浚渫をお願いしたい。	県が優先順位を決めて浚渫をやっている。引き続き要望していく。予防防災は大切である。と説明した。	
要 望	<p>蒜山地域の観光振興及び冬の産業振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者が冬でも働ける企業を誘致してほしい。</li> <li>・自転車道は環境にはいいが、落ち葉があり危険でもある。夏も冬も活用できるように情報発信をして、自転車道を生かした観光戦略を考えたらどうか。</li> <li>・観光客が減少している。石野神社、四塚古墳等観光振興の目玉が必要ではないか。</li> </ul>	今あるものに磨きをかけると同時に、新たな観光戦略が必要である。岡山～米子道の整備も進めており、インバウンド戦略も進めていく。観光戦略は真庭市の目玉だと思う。真庭版DMOを進めている。皆が知恵を出すことが大切である。と回答した。	
意 見	蒜山は桜が少ない。高原道へ桜を植樹したらどうか。	緑の運動を申し込めば桜の苗木の無料提供がある。ただし苗木は、地元で植樹である。回答した。	
要 望	井川の浚渫について	県に要望を継続していく。	

